
デジタルサイネージコンソーシアム(DSC)研究会

国際標準戦略部会から

2010年7月14日

1. 国際標準戦略部会の概要 ①目的・現状

1.目的

(1) デジタルサイネージの国際標準化動向の整理と標準戦略のあり方の検討

(2) 諸外国の標準化機関との連携促進と海外への情報発信の強化

⇒「標準化」の観点から日本のデジタルサイネージの普及を促進

2. メンバー(敬称略、五十音順)

沖電気、きもと、共同通信、シスコシステムズ、日本技芸、日本電信電話、ネクストウエーブ、パナソニック、日立製作所、富士フイルムイメージテック、三菱電機

NTTアイティ(※)、三菱総合研究所(※) (※:幹事会社)

3. 運営方法

上記目的に関する議論を月1回程度実施する予定

2. 総務省「通信・放送の融合・連携環境における標準化政策に関する検討委員会」

5月27日、6月11日、6月24日等開催、次回7月22日開催予定

1. 背景・目的

- (1) 国際競争力強化検討部会にて示された基本的な方向性を受けて、重点分野について、今後の標準化の進め方や、推進体制を具体化。
- (2) 国際競争力強化検討部会・寺島ワーキングの下に、「国際標準化戦略に関する検討チーム」を設け、早急な対応が必要と考えられる分野から、検討着手。

2. 検討項目

国際競争力強化検討部会が指示する方向性に従って、早急に着手すべき分野*から、以下のような項目について検討、具体化。検討結果は、適時国際競争力強化検討部会、プラットフォームに報告し、指示を受ける。

- ① 標準化戦略として、早急に取組むべき課題
- ② 課題を解決するための検討体制 等

(* 部会での指摘例 3Dテレビ、クラウドサービス、次世代ブラウザ、デジタルサイネージ、ホームネットワーク 等)

3. スケジュール等

平成22年4月に設置。可能なものから、実行に移していくことを目標とする。

事務局は、総務省情報通信国際戦略局通信規格課が行う。

構成員は、国際競争力強化検討部会の構成会社等を中心に人選し、テーマに応じて、適時、当該テーマの関係者に参加を要請し、検討を行う。

構成員(素案)

沖中 秀夫	KDDI(株) 執行役員 技術統括本部 技術渉外本部長
川添 雄彦	日本電信電話(株) 研究企画部門 理事
國屋 武光	日本電気(株) 執行役員常務
久保田 啓一	日本放送協会 放送技術研究所 所長
平岡 幸夫	住友商事(株) メディア事業本部 本部長代理
篠田 俊男	(社)日本民間放送連盟 専務理事
宮部 義幸	パナソニック(株) 役員 デジタルネットワーク・ソフトウェア技術担当
村井 純	慶應義塾大学 環境情報学部 教授 (検討チーム 構成員)
弓削 哲也	ソフトバンクテレコム(株) 専務取締役 技術統括

下線は、「ICT政策に関するタスクフォース 国際競争力強化検討部会」の構成会社

スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
スケジュール		WG開催 ▲	⇒ ▲	▲	▲		▲
主な決定事項		当面の検討事項決定	アクションプラン策定		予算措置を講ずべき事項の整理		一旦取り止め

(検討状況については、適時、政策決定プラットフォームに報告)

3. 部会議論概要

①DSC活動からの国際的情報発信について

- 英語、中国語等によるHP等を使った情報発信
- 主に標準化に係るもの（HP、パンフ等）
- DSC概要説明の海外発信についても要検討

②国際標準に向けた連携アクション

- DSE(11.2 @LV)等での交流・PR
 - ＞ターゲットの絞り込み
- 中国やアジアのフォーラム等との連携も重視
- DSC活動のプレゼンマテリアルを中英で整備

③総務省実証実験のフォロー

- 「通信・放送の融合・連携環境における標準化政策に関する検討委員会」との連携（メンバー貢献）
- 検討内容へのコミットと連携